

岡崎城下家康公秋まつり（公共交通に親しむ日）の結果について

1 概要

(1) 趣旨

岡崎城下家康公秋まつりにブース出展することで、幅広い年代の方に公共交通に対して親しみを持ってもらい、利用を促進する。

(2) 実施日

1日目：令和6年11月2日（土）
10時～14時30分 雨
2日目：令和6年11月3日（日）
10時～15時 晴

(3) 場所

殿橋下流乙川河川緑地右岸

(4) 実施主体

岡崎市・岡崎市地域公共交通会議



2 実施内容

●バスの乗り方教室・運転手体験

名鉄バス㈱の協力により会場にバスを入れ、より多くの方にバスの乗り方を学んでもらうため乗り方教室を開催すると共にバス運転手の制服を着用し乗務体験を開催。



●パネル展示

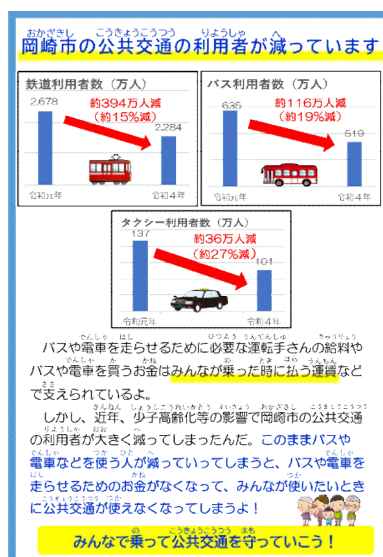
➤「市内を運行する公共の交通の紹介」や、「公共交通利用者が減少している状況」、「公共交通利用のメリット」などに関するパネルを展示。

岡崎市の公共交通について学ぼう

公共交通ってなに？
運賃を払うことで、だれもが利用できる乗り物。公共交通にはいろいろな種類があるんだよ！

岡崎市を走る公共交通
岡崎市にはたくさんの公共交通が走ってるよ！
どれだけ見たことがあるかな

鉄道	路線バス	タクシー
 名古屋鉄道(めいてつ)	 名鉄(めいてつ)バス	 国際タクシー(おかりく)
 JR東海(ジェイアール)	 名鉄東交バス めいてつとくやバス	 オーワタクシー
 愛知環状鉄道(あいかん)		



公共交通利用のメリット
公共交通を使うといいことがたくさんあるよ！

交通事故が減る	健康になる
愛知県内の人身事故件数は約24,500件(令和5年)。公共交通を利用すると交通事故を減らすことができるよ！	電車やバスを使えば、消費カロリーは車の約2倍。駅・バス停への移動や乗り換えなど、自然と運動が増えるよ！

環境にやさしい
1人あたりの二酸化炭素排出量が、バスは車の約2分の1、鉄道は約6分の1。公共交通の利用は地球の未来を守ることにつながるよ！

1人が1km移動するのに排出される二酸化炭素量(g/人・km)
車: 128
バス: 71
鉄道: 20

- 図画入りナンバープレートの設置、東岡崎駅の過去の写真やイメージパース、名古屋鉄道や愛知環状鉄道のイベント周知なども併せて実施。
また、愛知環状鉄道(株)及び名鉄バス(株)の協力による顔出しパネルも設置。



●クイズラリー

ブース内のパネルを見ながら回答する子ども向けのクイズラリーを実施することで、パネルを見てもらうきっかけづくりを行った。

【クイズラリー回答者数】

1日あたりの目標回答者数：600名

	回答者数	目標達成率
2日(土)	210名	35%
3日(日)	630名	105%
合計	840名	70%



公共交通に親しむ日クイズ

問題	答え
1 バスや電車を走らせるために必要な運転手さんの給料やバスや電車を乗るお客さんはみんなが乗った時に払う運賃などで支えられている。 〇か×か	
2 公共交通を使ういいこととして当てはまらないものは何でしょう？ ①健康になる ②大きな声で話すことができる ③騒音にやさしい ④交通事故が減る	
3 岡崎駅図柄入りナンバープレートのモチーフは何でしょう？ ①徳川四天王の兜 ②エコマンダー ③徳川家康公の兜の変遷 ④東海オンエア	
4 東岡崎駅が新しくなるのは(リニューアル完了目標年)、何年でしょう？ ①2025年 ②2030年 ③2050年 ④3000年	

3 評価

- 「公共交通に親しむ日」は令和元年度以来の実施であり、準備不足の部分もあったが当日は大きな混乱もなく、事業を実施することができた。
- 遠方から確認できるバスの設置や、テント外に設置した顔出しパネルなどが呼び水となり、公共交通に関心のない方もブース内に来場してもらうことができ、公共交通に関心を持ってもらうきっかけを提供することができた。
- 今後、実施の際にはより多くの市民に興味を持ってもらうことを目指し、公共交通会議を通じてPR内容の調整や交通事業者の参画の呼びかけなどを行う必要がある。